

第41号
広報委員会発行

関西大学通信

大阪府吹田市山手町3丁目
関西大学広報委員会

学長就任にあたって

学長 明石 三郎

私はこのたび、はからずも学長の要職を任ぜられたことになりました。もとより、その器量ないことには十分承知しておりますが、多数の支持を得た選挙の結果を尊重したいという気持ちから承諾いたしました。次期であり、私は本学の出身者ではありませんが、二十二年に教授に就任以来、本学の学風が私には極めておもしろいものであったことを感謝しております。おこがましいことかも知れませんが、私が自信をもって言えることは、他大学からの招きも拒み、本学への心からの愛着を感じながら、本学の発展を念じて微力を尽して来たことである。今日わが関西大学の発展は戦後における理事、教員、学生一体の理解ある協力の賜であり、また、またまこの間を引き続いて在職して来たことは、心から欣快にたえないところであります。創立九

十周年を間近に控え、不敏ながら私が第二十八代学長の要職を担うことになりましたことは、一方においては極めて不承ではありませんが、他方では希望に感ずる次第であります。いまはたまたま愛する関西大学への最後の御奉公と願い、誠意をもってこの大任を遂行したいと考えています。

今や日本の早い流動的社會環境の中にあつて、大学の古くまに留まつていてよいわけはありませんが、九十一年の伝統と新しいもの、古き成徳にも新しい道を盛っていかねばならないと考へます。大学改革、施設や人容の充実、その他、前学長より引き継いだ、新しい多くの問題もあつますが、私は先ずこれらの問題について一誠意に取り組んでいく覚悟であります。しかし、いづれをとりましても理事、教員、学生の皆さんの好意ある協力なくしては成

しない問題ばかりであります。そこで、学長就任に当たり、私の抱負といふよりも希望をいふことについて、学内施設の拡充と教授人容の充実を図りたいことと、先づ第一に、理事長の手で主張していられた教育優先の原則のついで、学内施設の拡充と教授人容の充実を図りたいことと、内容の多様化は、現代の大学の三大特徴であり、現代の大学の三つの特徴を生かし、伝統的学風を守りたいものであります。しかし、外からの干渉を排除するためには、内部における自主性を保持しなければなりません。教員も学生も一体となり、自治に対する深い認識の上に立つて、責任ある行動を必要とするものと考へます。

第三には、人間尊重、すなわち民主主義的立場において教育の運営を行なうたいと思つて、その為には話し合いを尊重したいと考へます。ただ多数の話し合いは、やむを得ず、結果に終わりがちでありますので、どこまでも秩序のある、平和で好意に満ちた話し合いであることを前提したいと思います。

中立堅持で真理追究を

秩序ある話し合いの教学運営

第三には、当然のことながら、大学の自治を守りたいといふことですが、これは単なるお題目であつてはなりません。いわゆる「筑波大学法」が私立大学へどのような影響を与えるかは今後の問題で、予断を許しません。私立大学の特色を生かし、伝統的学風を守りたいものであります。しかし、外からの干渉を排除するためには、内部における自主性を保持しなければなりません。教員も学生も一体となり、自治に対する深い認識の上に立つて、責任ある行動を必要とするものと考へます。

第四に、学生諸君の自治会、学友会の再建を希望します。第一節では既に存在していますが、第一節では中断した形になっております。学生の自治ないし自主の精神の養成は、大学教育の一つの大きな目標と考へられ、平和のうちに自治の精神にもつて、学生諸君の自治組織が再建されたいと考へております。例年おこなわれていた大学祭や体育祭も最近では開かれなくなつており、学生諸君にとつても淋しいと思つております。大学執行部においても、話し合いの場が存在しないことは遺憾なところと考へます。第五には、学内の諸活動は、政治的（党人的）実践活動から中立でありたいと考へております。このことは、大学の理念について諸学者やスペースの制約するものであり、大学では行動による現実

接近よりも議論による現実接近こそ、その理念に合致するといふことですが、大学は政治家の集まるところではなく、智をみかぐものゝ来たるべきところと考へます。政治的実践活動から中立を堅持することは、真理追究といふ大学の

新役職者決まる

- 新しく大学の役職者が決まり、十月一日付で下記の通り発表されました。
- 学長 明石 三郎 (法・教授)
 - 学 長 廣田 司朗 (商・教授)
 - 同代理 大庭 脩 (文・教授)
 - 学生部長 沢井 裕 (法・教授)
 - 就職部長 本庄 良邦 (社・教授)
 - 図書館長 中村 幸彦 (文・教授)

ドイツ財政学の第一人者



廣田 司朗 学部長

大正十四年大阪府下深木の生まれ。六高を経て京大に進学され、島根教授の門下生。山口大学講師を経て昭和三十一年本学助教授に就任された。補導主任、学生部長代理、学生主任、商学部長代理、商学部長を歴任され、また山

海外にもよく知られた学者



大庭 脩 学部長代理

旧制高、寛谷大学を卒業。理心女子大学から昭和三十三年本学へ移られた。専攻は現代学を中心とする中国法制史で、多くの著

公害法では斯界の最高権威



沢井 裕 学部長

昭和三十年大阪大学法学部の卒業。三十二年本学助手となり、明石教授(現学長)の下で民法学を専攻。特に債権法の分野で優れた業績をあげられている。最近では公害問題に携わられ、この分野では若手ながら斯界の最高権威。アカデミックな環境を求め、最も研究者らしい研究者であるが、その活動力もまた抜群である。

博学宏識な現代の碩学



中村 幸彦 図書館長

本学の学芸では、まさにこのような人である。まことに、全国の学者に心から敬服され、博学宏識に世に鳴る現代の碩学(まがき)である。

産業教育学に新分野展く



本庄 良邦 就職部長

このたび就職部長として本庄良邦教授が就任された。同教授は、産業教育論、教育原理および教育社会学を担当され、また大学院では産業教育学研究・演習も担当されている。



千里眼

である。近世文学を専攻し、厳密な実証と、勘所を捉えた柔軟な感受性のひらめきで、その水準を一歩に高めた画期的な功績者。論文集「近世作家研究」「近世小説史の研究」「戯作論」をはじめ、発表論文は三百篇を越す。岩波書店の「日本古典文学大系」全百巻のうち、「上田秋成集」は、五巻を完成、古本校注の恐ろしく、淡路島由良の生まれ、京都大学卒業。九州大学国文学科主任教授、文学部長を経て四十六年四月本学に就任。文学博士。櫻柳軒と号す。

▼アダム・スミスは個人を社会に結合する契機を利己心に求めた。しかしこの利己心を制限するものは彼と隣人の生命、人格、財産、権利を守るといふ正義の法則であり、この正義の法則によって制約された利己心こそ「見えざる手」に導かれて社会福祉の向上に資するといふ。自由主義経済思想を唱えた。

▼国家権力行使する国家については、同じことがいえます。一國を国際社会に結合する契機はたとえ同じであるとしても、スミスの利己心は、国家権力行使する手に負えない巨大な怪物が世界に現れた。多国籍企業である。それは中央集権的な経営管理機構の下に運営され、その所有する流動資産(二六九〇億)は、それは世界の対外準備資産(一三〇〇億)の二倍を越え、近時経歴されたように即座に国際通貨危機を巻き起こす。彼ら多国籍企業は利己心のみで行動すれば、国家権力との抗争をひきおこすが、もう既に、それは始まっている。▼この巨大な怪物の世界活動を可能にしたものはいったい何か。それは急速に大量の情報を集め、決定を伝達する国際テレックスであり、何よりも情報を超高速に処理するコンピュータに他ならない。人間を管理する者、それはコンピュータか。(S.K)

本号の目次

- ▼一面 学長就任にあたって 新役職者決まる、千
- ▼二面 キャンパス情報、故郷尾忠男教授追
- ▼三 就職部長より、狭山裁判について
- ▼四 最近のアメリカ政治、三冊の本、随想

キャンパス情報

経済学部長に高本教授

高尾忠男教授が、十月一日、次の要人人事

経済学部
部長 高尾忠男
助部長 佐藤高本
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

社会学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

工学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

学生部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

保健管理センター
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

高本経済学部長の横顔

近頃の経済学部の横顔を語る高本教授は、高尾忠男教授が、十月一日、次の要人人事

経済学部
部長 高尾忠男
助部長 佐藤高本
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

社会学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

工学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

学生部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

保健管理センター
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

木村商学部長の横顔

木村商学部長の横顔を語る高本教授は、高尾忠男教授が、十月一日、次の要人人事

経済学部
部長 高尾忠男
助部長 佐藤高本
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

社会学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

工学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

学生部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

保健管理センター
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

第一グラウンド整備

グラウンド整備の進捗状況を報告する高本教授は、高尾忠男教授が、十月一日、次の要人人事

経済学部
部長 高尾忠男
助部長 佐藤高本
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

社会学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

工学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

学生部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

保健管理センター
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

高尾忠男教授を悼む

高尾忠男教授の訃報を伝える高本教授は、高尾忠男教授が、十月一日、次の要人人事

経済学部
部長 高尾忠男
助部長 佐藤高本
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

社会学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

工学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

学生部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

保健管理センター
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

税務会計の学問体系確立

高尾忠男教授の税務会計の学問体系確立を伝える高本教授は、高尾忠男教授が、十月一日、次の要人人事

経済学部
部長 高尾忠男
助部長 佐藤高本
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

社会学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

工学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

学生部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

保健管理センター
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

天六学舎でも開催

天六学舎での開催状況を伝える高本教授は、高尾忠男教授が、十月一日、次の要人人事

経済学部
部長 高尾忠男
助部長 佐藤高本
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

社会学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

工学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

学生部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

保健管理センター
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

本学で開催

本学での開催状況を伝える高本教授は、高尾忠男教授が、十月一日、次の要人人事

経済学部
部長 高尾忠男
助部長 佐藤高本
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

社会学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

工学部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

学生部
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

保健管理センター
学主任 佐藤高本
学副主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本
学助主任 佐藤高本

就職内定状況

業種	就職内定者数	就職内定率	業種	就職内定者数	就職内定率
法	851	76.8	大企業	210	79
文	452	55.2	中企業	64	51
経	599	76.5	小企業	19	1
商	809	81.9	その他	204	109
社	556	70.4	合計	127	94
工	625	62.2	1部計	4,548	70.3
計	1,108	62.2	2部計	3,029	66
1部計	4,548	70.3	合計	7,577	69.7
2部計	3,029	66			
合計	7,577	69.7			

業種別就職内定者数

業種	就職内定者数	業種	就職内定者数
法	452	製	17
文	261	機	1
経	596	電	9
商	415	学	2
社	385	機	4
計	2,109	機	16
工	920	機	13
1部計	3,029	機	62
2部計	122	機	1
合計	3,151	機	63

就職資料室で真剣に調べる学生

就職資料室で真剣に調べる学生。就職資料室で真剣に調べる学生。就職資料室で真剣に調べる学生。

「狭山事件」に想う

森井 璋

「狭山事件」に想う。森井 璋。狭山事件の真相を追求する。

偏見と見込み捜査の犠牲

裁きの庭にも差別観念が

偏見と見込み捜査の犠牲。裁きの庭にも差別観念が。偏見と見込み捜査の犠牲。

重複内定者の増加

重複内定者の増加。重複内定者の増加。重複内定者の増加。



